

■時系列

9月19日

- 7:35 所内共通M/C_2B「構内配電線高圧配電塔」しゃ断器トリップ
ブライン供給ポンプ停止, 凍土設備全停
- 12:20 ブライン供給ポンプ起動, 凍土設備運転再開
- 14:30 構内配電線 事故探査開始 (バッチャープラントが事故点と想定)
- 17:28 不具合箇所を除き、M/Cを投入し、構内配電線復電

9月20日 倉庫群キュービクルを復旧しようとしたところ、絶縁不良を確認した。
(9月21日までにお知らせ済み)

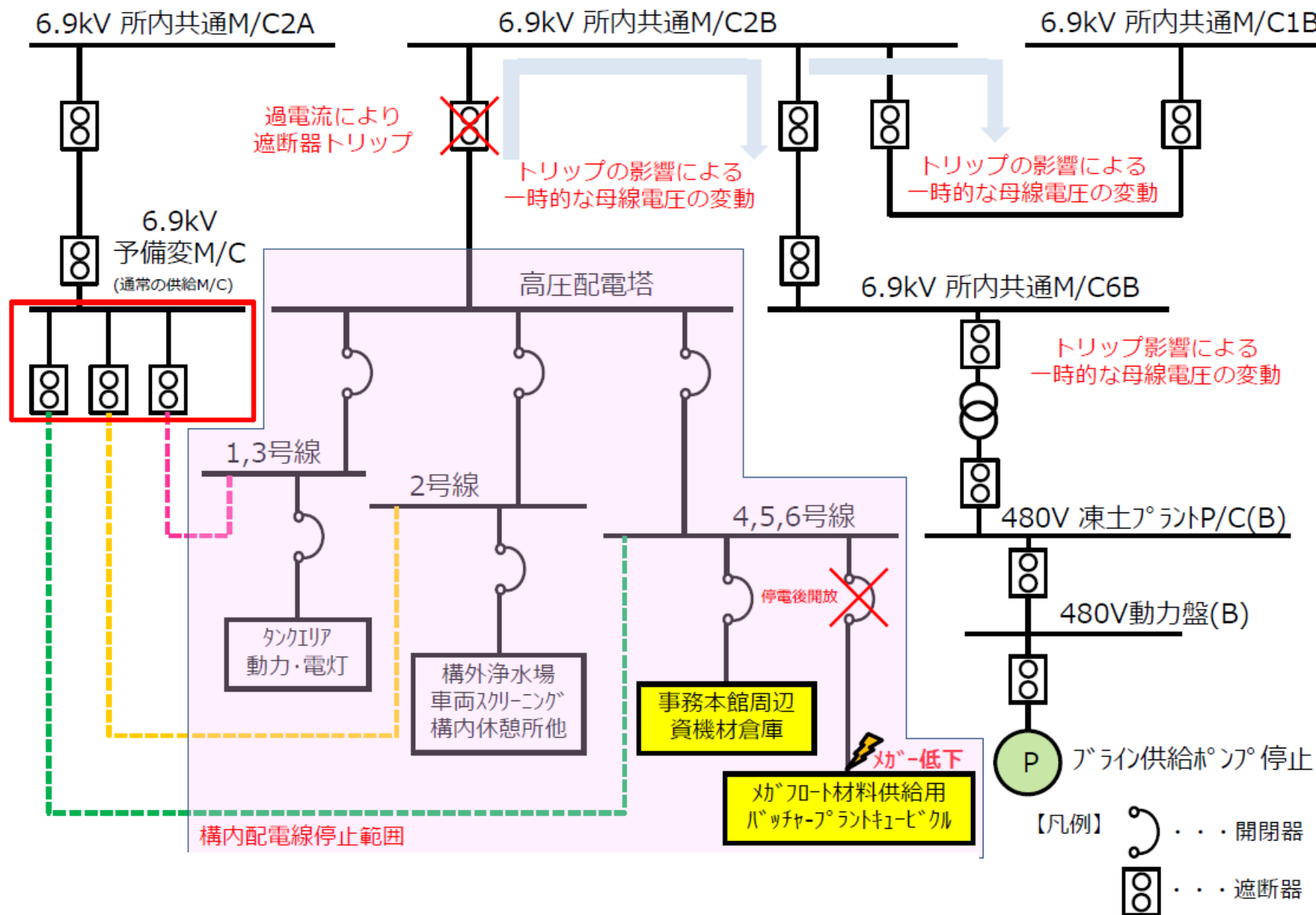
その後、キュービクルのしゃ断機に何らかの故障があると想定し、当該キュービクルについては、9月30日までに仮復旧済み

10月7日 バッチャープラントについて碍子洗浄を行ったところ、絶縁が回復

10月20日 故障が想定されるしゃ断機をメーカーへ持ち出し原因調査中

11月19日 バッチャープラントについては、送電前に絶縁抵抗を測定し、問題がないことを確認し、復旧させる予定

構内配線図





(参考) バッチャープラント
キュービクル送電ライン

- 碍子の洗浄周期の見直しを行い、絶縁低下対策を図る。
- 今後、構内配電線から供給する予定。(11月中旬以降)
- 洗浄周期見直し後、10月7日に点検を実施し、異常のないことを確認済。

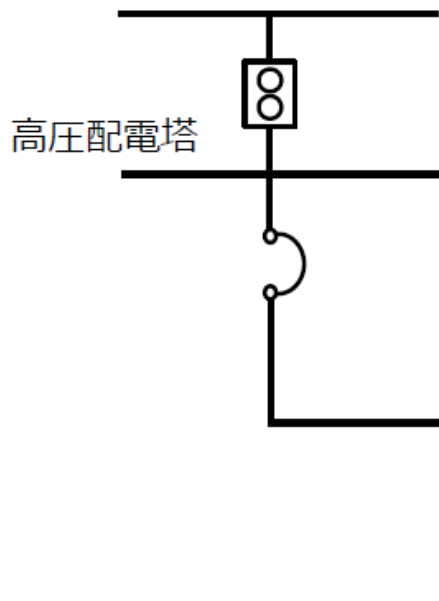
⇒11月19日に絶縁抵抗に異常のないことを確認し、復旧予定

項目	変更前	変更後
保全方式	TBM	TBM (変更なし)
外観目視点検 (絶縁抵抗測定含む)	1回/3ヶ月	1回/3ヶ月 (変更なし)
碍子洗浄	1回/6ヶ月	1回/3ヶ月

- 倉庫群CH(キャビネット)を確認したところUAS※が動作していることを確認した。
- 倉庫群キュービクルについて、しゃ断器が「入」のままであること、不良箇所の特定を行うため、調査を実施したところしゃ断器の絶縁不良を確認した。
- メガフロート材料供給用バッチャープラントについては、配電線の碍子清掃を行い絶縁抵抗値が回復したことを確認した。

※UAS : 過電流ロック形高圧交流空中負荷開閉器 (Underground Air Switch)
M/Cが過電流にてしゃ断器トリップ後、無充電となった際、開放する仕組み

所内共通M/C2B



倉庫群CH



UAS動作



倉庫群キュービクル

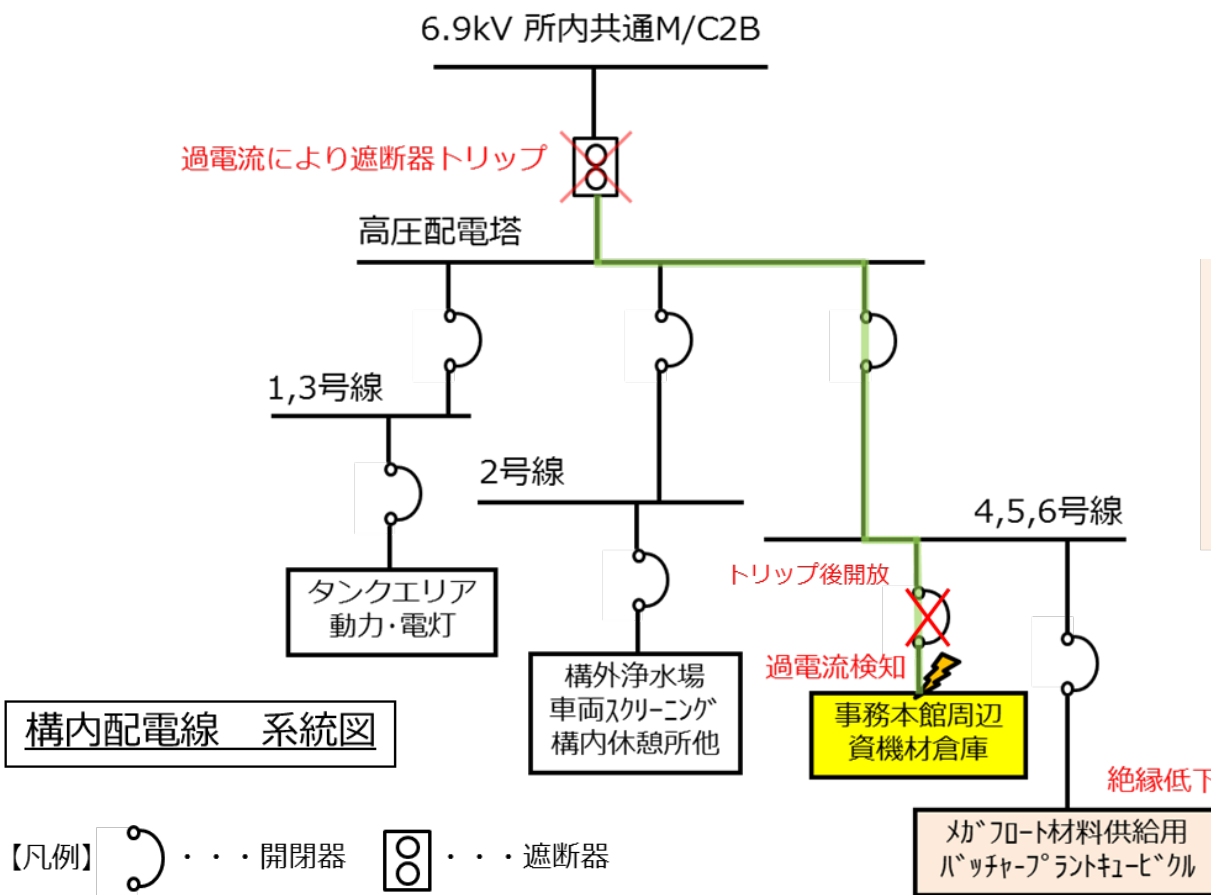


倉庫群キュービクル受電系統図

【凡例】 ... 開閉器 ... 遮断器

倉庫群キュービクル内のしゃ断器に何らかの故障が発生（メーカーでの外観調査においては、トラッキング痕による相間短絡が見られる）し、過電流が流れ、倉庫群キャビネット内の（過電流を検知）が動作するとともに、所内共通M/C2B(6A)がトリップしたものと推定。

その後、無充電となったことから、UASが「切」となり、倉庫群キュービクルが構内配電システムから切り離された。



なお、バッチャープラントについても、事象発生時、事故探査において事故点と判明しているため、仮に倉庫群キュービクルの切り離しを行った後、再受電した場合、バッチャープラントを起因として、再トリップした可能性もある。